

施策・主な取組シート

基本方向	(2) 子どもを育む環境づくり	基本政策	3) 青少年の健全育成
(1) 施策			
名称	1 3 青少年の健全育成		
目標	青少年の健やかな成長と自立を見守る環境の整備に取り組み、社会全体でこころ豊かな人間性と主体的な判断力をもつ青少年を育みます。		
現状と課題	青少年を取り巻く環境は、少子化や家族構成の変化、地域のつながりの希薄化などを背景に、社会全体のモラルの低下や有害情報の氾濫など、健やかな成長を阻害する要因が増加しています。 心豊かな人間性を育むために、家庭、地域、学校・行政が相互に連携・協力し、青少年育成団体等への支援が求められています。 また、地域ぐるみで青少年を見守る環境づくりを支援する担い手の育成が必要となっています。		
課題解決の方向性	青少年の健やかな成長と自立を促すために、世代間交流の機会や体験的な学びの場を提供します。 また、青少年を取り巻く環境の浄化活動を推進するための啓発活動や、地域の教育力の向上を図るため、担い手となるボランティアの育成に取り組みます。		
(2) 主な取組			
No.1	名称	青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上	
	担当課	生涯学習課・公民館	
	概要	・ 青少年の指導、育成、保護、矯正に関する総合的な施策を適切に実施するため、青少年問題協議会を開催し、関係行政機関との連絡・調整を図ります。 ・ 地域での青少年健全育成活動を推進するため、青少年相談員の活動の充実を図るとともに、関係団体等への支援や連携の強化、青少年育成活動の担い手の育成を図ります。 ・ 子どもの居場所づくりや地域の教育力の向上を図るため、放課後子ども教室の拡充支援や、地域の参画による世代間交流や様々な体験活動を通じて、子どもたちの主体性、協調性、自立心の育成を図ります。	
No.2	名称	青少年育成事業の推進	
	担当課	生涯学習課・公民館	
	概要	・ 青少年の豊かな人間性を育み、自立と社会参加を促すため、生き生き体験キャンプ事業や野外体験促進事業、成人式事業を実施します。 ・ 子どもたちの生きる力と地域の未来を担う青少年を育成するため、サタデースクール事業等の青少年教育事業を公民館で実施します。 ・ 積極的な広報活動や運営方法の改善等により利用促進を図るとともに、少年自然の家キャンプ場を自然体験活動の拠点としての施設改修や老朽化した施設の計画的な整備に努めます。 ・ 青少年事業の活動支援のため、ボランティアの育成を図ります。	

No.3	名称	青少年を取り巻く環境浄化と非行防止		
	担当課	まなび支援センター・生涯学習課		
	概要	・さまざまな問題に悩む幼児から青少年及びその保護者への支援を行うため、社会教育指導員による相談活動（電話相談・来所相談・メール相談）を実施します。 ・青少年の非行防止と健全育成を図るため、青少年補導員による地区街頭補導、乗車マナー指導、喫煙・禁酒キャンペーンなどを実施するほか、関係機関や相談員、PTAなど地域の団体とともに、有害環境の浄化のための啓発に取り組みます。 ・青少年育成、非行防止に関わる関係機関・団体・有識者との連携を図り、まなび支援センターの青少年指導関係事業を効果的に運営するため、青少年指導関係運営協議会を開催します。		
施策目標の実現に関する指標	指標	現状値(H30)	目標値 (H34)	設定の考え方
	放課後子ども教室一体化の市内設置教室開設	0	2	30年度現在、一体化の条件にある小学校の敷地又は隣接に開設する教室が2校であることからです。
	キャンプ場施設利用率及び利用者数 (デイキャンプ等含む)	(H29実績値) 施設利用率 67.69 % 利用人数 2,149 人	施設利用率 67.7% 利用人数 2,391人	直近3年： 開設日平均 63.6日、 利用日平均 40.6日 施設利用率平均63.81% 利用人数平均2,345人 利用人数目標を平均値の2%増 利用率H29最高値=目標値キープとした